

シンポジウム

インドの価値観と社会構造

～日本と西洋との比較研究～

とき：2018年11月10日(土) 受付 13:00～

ところ：同志社大学 今出川キャンパス 神学館 3F 礼拝堂

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

■プログラム

13:30 / 科研成果発表

「経済成長戦略に関するグローバル比較と文化基盤の与える影響に関する研究」
基盤研究B

代 表 三野 和雄 (同志社大学経済学部)
研究分担者 伊多波 良雄 (同志社大学経済学部)
八木 匡 (同志社大学経済学部)
川浦 昭彦 (同志社大学政策学部)
滝本 香菜子 (同志社大学総合政策科学研究科 博士後期課程)
田辺 明生 (東京大学総合文化研究科)

15:00 / 休 憩

15:15 / 講 演

「多様性社会としてのインドー南アジア型発展径路を考える」
田辺明生 (東京大学総合文化研究科)

15:45 / 講 演

「転生を生きる人々ー生まれ変わりのコスモロジーをめぐって」
西平直 (京都大学教育学研究科)

16:15 / 休 憩

16:30 / 鼎 談

ツトム・ヤマシタ・田辺明生・西平直

17:30 / 終 了

■主 催

科学研究費補助金基盤研究 (B) 三野和雄代表
『経済成長戦略に関するグローバル比較と文化基盤の与える影響に関する研究』
同志社大学創造経済研究センター / 同志社大学ライフリスク研究センター

■共 催

京都大学未来創成学国際研究ユニット / 一般社団法人虚空会

■後 援

京都府 / 京都市

CSCE
CENTER FOR THE STUDY OF
THE CREATIVE ECONOMY

同志社大学 創造経済研究センター事務局

〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸東入 Tel:075-251-3728 Fax:075-251-3727

rc-csce@mail.doshisha.ac.jp (代表アドレス) 創造経済研究センターHP: <http://csce.doshisha.ac.jp>

シンポジウム

インドの価値観と社会構造 —日本と西洋との比較研究—

登壇者 プロフィール



三野 和雄 (同志社大学経済学部教授)

関西学院大学経済学部卒業。神戸大学大学院経済学研究科修士課程、ブラウン大学大学院経済学博士課程修了(Ph.D.)。神戸大学、大阪大学、京都大学等に勤務の後、2016年より同志社大学経済学部特別客員教授を務める。専攻は経済成長理論を中心とするマクロ経済学。



伊多波 良雄 (同志社大学経済学部教授)

同志社大学大学院経済学研究科修了。現在、同志社大学経済学部教授。主要著書としては、『基礎から学ぶ財政学』(晃洋書房、2016年)、『これからの大学経営』(晃洋書房、2018年)などがある。幸福観分析やソーシャル・キャピタルについて研究。



八木 匡 (同志社大学経済学部教授)

京都大学経済研究所助手、名古屋大学経済学部助教授を経た後、現在同志社大学経済学部教授、日本経済学会理事(2002年～2007年)、文化経済学会<日本>会長(2018年～)
著書:『European Economic Review』等海外学術雑誌等に論文を多数掲載。『教育と格差』、『スポーツの経済と政策』、『スポーツの組織文化と産業』、『The Kyoto Manifesto for Global Economics: The Platform of Community, Humanity, and Spirituality』等の著書を執筆。



川浦 昭彦 (同志社大学政策学部教授)

名古屋大学経済学部卒業。ハワイ大学で経済学Ph.D.取得後、国連、世界銀行などで勤務。世界銀行ではブータン担当エコノミスト。



田辺 明生 (東京大学総合文化研究科教授)

1964年岡山県生まれ。東大院総合文化研究科教授。学術博士。歴史人類学、南アジア地域研究専攻。東大法学部卒、大学院総合文化研究科博士課程中退。東大AA研、京大人文研・AA研究科を経て、現職。著書に『カーストと平等性 — インド社会の歴史人類学』(東京大学出版会)など。



西平 直 (京都大学教育学研究科教授)

専門は、教育人間学、死生学、哲学。人の一生(ライフサイクル)について考えています。この十年、毎年ブータンに通っています。著書に、『魂のライフサイクル』(東京大学出版会)、『世阿弥の稽古哲学』(東京大学出版会)、『無心のダイナミズム』(岩波現代全書)など。



ツトム・ヤマシタ (アーティスト)

打楽器のソリストとして世界的なオーケストラと共演。ヘンツェ、武満等と共に、打楽器ソロによる楽曲を数多く生み上げ、打楽器音楽の巨匠となる。「レッド・ブッダ・シアター」、ロックグループ「GO」を結成し、ジャンルを越えたフュージョンの先駆けとなり、世界に旋風を巻き起こす。仏教音楽を研鑽し石の楽器「サマカイト」との出会いにより、神道と禅 仏教、音を融合した「音禅法要」、新たな音楽形態を確立。